

バシー保護に配慮する必要から、本年4月から専門収集班を設置する。支援の必要性の確認については、民生委員の協力を得ながら行っていきたい。



4月からの「ふれあい訪問収集」

公明党

耕作放棄地を活用した植物油脂樹木ジャトロファの栽培について

問 ジャトロファは中南米原産の低木で油分が豊富な種子が年間四、五回採取できる。耕作放棄地解消や有害鳥獣対策とともに、担い手農家の支援対策に栽培促進を図っていく考えはないか。

答 ジャトロファの栽培が次世代エネルギーとして確立されれば耕作放棄地の解消策として有効ではないかと考えるが、長崎の気候条件に適するかという問題もあり、今後、耕作放棄地で栽培実験を行いたいと考えている。

廃食用油再生燃料の本格事業化について

問 廃食用油を精製し公用車などの

バイオディーゼル燃料とする取り組みが多くの自治体で実施されている。本市における試験運行の結果と、本格実施に向けての見解についてお聞きしたい。

答 燃費や走行は軽油とほぼ同じだが、排気のおいが非常に気になるとの指摘があった。課題解決のため今後も走行テストを行う。本格導入には軽油と混合して使用することも視野に入れ、活用拡大を図る必要がある。



廃食用油燃料使用車

日本共産党

市立幼稚園の廃園及び市立保育所の民間移譲の撤回について

問 市立幼稚園の廃園と市立保育所の民間移譲は、子育てについて市の公的責任を放棄することになり、到底納得できない。保護者の納得も合意もとれないまま、市立幼稚園の廃園と市立保育所の民間移譲を行う理由は何か。

答 幼稚園・保育所については、市立・私立を問わず関係法令に基づき格差のない教育・保育が実施されており、市が直接運営するというのではなく

限られた財源の中で子育て施策全般の企画・立案等の主体として十分な取り組みを行うのが市の責任と認識している。



市立幼稚園

学校給食の調理業務の民間委託の問題点について

問 偽装請負が社会問題化する中、長崎労働局が県下自治体に対し委託業務の自主点検を依頼したが、本市の学校給食調理委託業務についてどう回答したのか、その結果、長崎労働局はこの委託を適法・適正と判断したのか。

答 県教委を通じ文部科学省に問い合わせたが、本市の業務委託は法令に抵触しない旨の回答を得ており、法的に問題ないと判断している。現在、本市の回答に対し長崎労働局は厚生労働省と協議中と聞き及んでいる。

自民長崎人の会

医師確保について

問 長崎市においては唯一、長崎大学医学部に医師派遣を頼らざるを得ない

のが現状ではないか。そのような中、長崎大学の医局自体、医師が減少していると聞き及んでいる。医師確保の現状はどうなっているのか。

答 野母崎・琴海両病院の医師不足は非常に深刻な状況だ。新市立病院では今以上に高度急性期医療を担い、また救急医療も担うので、医師が集まりやすい病院となれば医師の供給病院としての地位も確保できるかと考えている。



琴海病院

(個人質問)

市民クラブ

公営施設の貯水槽検査について

問 市が管理する施設の貯水槽の水質検査や清掃業務の委託において、施設によっては履行確認や施錠に職員が現場で立ち会っていないなど確認方法が統一されていないが、水の安全性を確保する観点から確認方法を統一するべきではないか。